

## インターネットでオンラインソフトを入手して、 パソコン生活をより楽しくしよう！

### この文書の目的と対象：

この文書は「パソコンの使い方は一通り知っているけれども、もっといろいろな使い方をしてみたい」と考えている人、「オンラインソフトって聞くけど、実際どうなの？」と思っている人を対象にした文書です。この文書は主に Windows XP での使用を想定して書かれています。

### はじめに

---

パソコンを使っていると、こんなソフトが欲しい、こんなソフトがあったらいいなということが多々あります。もちろんコンピュータショップに行ってソフトを買ってくるのも手なのですが、しかし、ネット上には多くのソフトが出回っているのをご存知でしょうか。中には無料で使えるフリーソフトなんていうものもあります。「無料って危ないんじゃないの？」という方もいらっしゃるかもしれませんが、フリーソフトの仕組みを知って、ぜひともインターネットからのソフトのダウンロードに慣れてほしいと思います。そうすれば、パソコンをより活用することが出来るようになりますよ。

### 目次

はじめに.....	1
オンラインソフトの種類.....	1
フリーソフトが無料なワケ.....	2
オープンソースとは.....	2
オープンソースと GPL.....	3
ソフトをダウンロードするときの心がけ.....	3
ダウンロードするソフトを探す.....	3
動作条件を確認しよう.....	4
アンケート、を聞かれたら.....	4
いざ、ダウンロード.....	5
大事なウイルスチェック.....	5
ソフトを「解凍」する.....	5
では、インストール.....	6
知っておきたいレジストリ.....	6
早速使ってみよう！.....	7

### オンラインソフトの種類

---

インターネットからダウンロードして使うソフトのことをオンラインソフトと言います。オンラインソフトには主に三種類あります。一つは製品版。製品版は入手経路がインターネットという違いがあるだけで、ソフト自体は普通のパソコンショップに売っているのと同じです。これは買うときにお金を払わなければなりません。二つ目はシェアウェア。これははじめはソフトに機能制限や試用期間限定がついているもので、もしあなたがそのソフトを気に入って作者にお金を払うとそれらの制限が解除されて

普通のソフトのように使うことができるというものです。そして三つ目はフリーソフト。これは無料で使えるソフトです。また、これらに加えて「体験版」「試用版」といったものもあります。これは製品のソフトを試しに使うことができるというもので機能制限または使用期限があり、シェアウェアの一つともいえます。

## フリーソフトが無料なワケ

---

無料、というと「無料って危ないんじゃないの?」と思う方もいらっしゃるかもしれませんが、フリーソフトはそんなに危ないものばかりではありません。しかし、なぜソフトをフリーで配布しているのか? という疑問はあると思います。

いろいろ理由はありますが、理由の一つは社会貢献のためです。フリーソフトの作者は、フリーソフトを配布することによって社会に利益を還元し、また、配布によって生まれるそのソフトのユーザーとの交流を楽しんでいるひとたちです。つまり、ボランティアの一種と考えていいと思います。コンピュータ界にはこう言った人たちが稀にいるのです。

二つ目の理由は、商品販売のための宣伝や、コマーシャルのためです。有用なソフトをフリーソフトとして公開すれば、それを使う人たちから注目されます。そのことによって会社の評判を上げたり、その会社の別の商品を買ってもらうきっかけにもなります。

三つ目の理由は、開発途中のプログラムのバグ（ソフトの不具合）発見のため、または評判調査のためです。コンピュータのソフトというものには、必ずバグがつきものです。そこで開発途中のソフトをパソコンを使う人に実際に使ってもらって、バグを見つけたり、あるいは「こういう機能が欲しいな」といった要望などの情報をユーザーから集めるのです。これらの情報があればソフトウェア会社はそのソフトを修正してより商品性の高いものに仕上げることが出来ます。（ちなみに開発途中のソフトを試験的に公開する場合、よく Beta<sup>ベータ</sup>と言う名前がソフト名の後ろにつけられます。）

ここで留意点を一つ記さなければなりません。それは「フリーソフトにはアテにならないものもたくさんある」ということです。フリーソフトはそのほとんどが個人で作っているもので、企業で作るソフトのようにお金を支払って買うものではありません。なのでそれなりな保証がある製品版と違って、どうしても品質が悪いものが多く含まれてきます。また、大抵のフリーソフトは利用上の注意事項として、「作者はそのソフトの欠陥、そしてその欠陥から引き起こされた損害に対して一切責任を持たない」と明記してあるものが多いです。なのでフリーソフトを使うときは自己責任で使いましょう。

## オープンソースとは

---

フリーソフトは多くの人によって様々な形態で作られています、中でも注目なのはオープンソース・ソフトウェアです。オープンソース・ソフトウェアとは、ソフトの設計図が公開されているソフトです。ソフトの設計図とは正確にはソースコードと呼ばれるテキストファイルで、これを使ってあらゆるソフトを設計、開発します。

このソフトの設計図が公開されているということは、誰でもそのソフトを無料で使え、誰でもそのソフトを改変し、誰でもそのソフトを配布できるということです。普通の企業が作るソフトは、ソフトの設計図は公開されていません。もし公開したら、誰でもソフトがタダで使い放題になって商売にならなくなるからです。それにたいして、オープンソース・ソフトウェアは自由。オープン・ソースソフトウェアの利点は、多数の人が開発に参加できるということです。多数の人が開発に参加していると、それだけソフトの洗練さもあがってきます。個人が開発したソフトの場合、作者のクセが現れて、使いづらいソフトになっていることがあります。オープンソース・ソフトウェアではそういったことは少ないのです。

## オープンソースと GPL

---

オープンソース・ソフトウェアを使うときに一つ覚えておきたいことがあります。それは『GPL』<sup>ジーピーエル</sup>のことです。GPLとは『GNU GENERAL PUBLIC LICENSE』<sup>グニュー・ゼネラル・パブリック・ライセンス</sup>（グニュー一般公有許諾契約）の略で、ソフトウェア・ライセンスの一つです。「ライセンス」とは、どのソフトウェアにも大抵指定されているそのソフトの利用上の法的条件を示したもの（一種の契約書）ですが、GPLはオープンソース・ソフトウェアに良く適用されるライセンスです。GPLが適用されるソフトでは、使う前にGPLに同意し、その制限を受けることを認めなければなりません。

しかし心配は無用です。GPLとは先ほど述べたオープンソースの理念、「誰でもそのソフトを無料で使え、誰でもそのソフトを改変し、誰でもそのソフトを配布できる」ということを法的に明文化したものです（実際は様々な細かい条項がありますがここでは気にしなくていいでしょう）。普通の使い方でGPLのソフトを使うのに一般の人が制限される条項はなにもありません。インストール時（後述）にはGPLが書かれた使用許諾契約書画面が現れるので、同意を選択して先に進みましょう。

## ソフトをダウンロードするときの心がけ

---

ソフトをダウンロードする前の注意点を一つ。ネット上にあふれているソフトの中には悪意を持って作られたものもあります。たとえばスパイウェアなどがそうです。スパイウェアはあなたのパソコンにインストールされた後、あなたのパソコン内に保存されている個人情報を選び出し、あなたが気づかないうちにインターネット越しのソフト制作者に送信しようとしています。これによって、パソコンに入力した暗証番号が盗み見られたりするのです。よってこれに対処するためには怪しいソフトはインストールしない、ネットセキュリティーソフトをパソコンに導入する、などの対処策を立てておいた方がよいと思われます。

## ダウンロードするソフトを探す

---

では実際にダウンロードするに当たっての手順を説明しましょう。まずソフトが公開されているサイトを見つけなければなりません。あなたに意中のソフトがあるのなら、まずそのソフトの名前を検索エンジン<sup>1</sup>で検索しましょう。「こういったソフトが欲しいんだけどあるかな？」という場合は、オンラ

---

1 検索エンジンとは目的のホームページを探すためのホームページで Google や Yahoo が有名。

インソフトがたくさん登録されている専用のサイトを使うといいです。これは「Vector」や「窓の杜」<sup>2</sup>といったサイトが有名です。ここでリンクをたどるなりサイト内検索をするなりして目的のソフトのダウンロードページまでたどります。

## 動作条件を確認しよう

---

そして次にホームページを見てそのソフトの動作環境を確認します。特に注意なのはそのソフトが  
ウィンドウズ Windows版なのか マッキントッシュ Macintosh (Mac OS X) 版なのかです。それぞれのソフトはそれぞれの OS <sup>3</sup>上  
オーエス でしか動作しません。自分が使っている OS がどちらかわからないときは近くのパソコンに詳しい人に  
聞いてみてください。たとえば Macintosh 用と書かれているソフトは Windows では動作しません。  
同じ Windows でもバージョン<sup>4</sup>が違ったりすると動かなかったり、ある別の特定のソフトがあらかじめ  
インストールされていないと動作しないというソフトもあります。バージョンによるソフトの動作条  
件の違いなどは、大抵ダウンロードページやその近くのページで表示されているので、ダウンロード前  
にこれを確認してください。

ソフトのファイルの大きさが大きくなってくると、それだけパソコンの性能も必要になってきます。製  
品ソフトの体験版など、ソフトによっては必要ハードウェア性能や推奨ハードウェア性能といったもの  
が指定されているものがあるのです。前者はそのソフトを動かすのに必要な最低限のパソコンの性能、  
後者は「これくらいあったらこのソフトは快適に動きますよ」という目安です。どういう項目があるか  
というと、CPU<sup>5</sup>、メモリ、ハードディスクなどです。自分がそのソフトをインストールしようとして  
いるパソコンが、そのソフトの動作条件を満たしているか確かめましょう。

## アンケート、を聞かれたら

---

最近多いのがソフトをインターネットからダウンロードするときにアンケートに答えなければいけな  
いというもの。これにはあなたのメールアドレス<sup>6</sup>や職業、そして住所や郵便番号などを聞いてくるも  
のがあります。中にはそのあなたのメールアドレス宛に製品の情報が書かれたメールを送っていかど  
うかを聞いてくるものも。もしあなたが製品の情報を知りたければこれはいいのですが、このメールを  
送って欲しくないときはこの項目のチェックボックスのチェックを外しておきましょう。

---

ベクター

まど もり

2 「Vector」 [<http://www.vector.co.jp/>] 「窓の杜」 [<http://www.forest.impress.co.jp/>]

3 Windows や Mac OS X のことを OS といいます。OS は日本語で基本ソフトとも呼ばれています。

4 「バージョン」とは同じ名前のソフト・OS でも、発売された時期・年によって新しいものと古いものがあるとい  
うことです。「1,2,3...」といった風にバージョン番号を付けたり「2006」「06」などと年号がつけられたりしてそれぞ  
れ区別されています。

5 CPU は別名「中央演算装置」でパソコンの中の計算を行う装置。メモリはパソコンの一時記憶装置。ハードディス  
クはデータを記録しておく装置のことです。

6 メールアドレスなどの個人情報を安易にインターネット上に送信すると、迷惑メールなどが送られてきたりなどの危  
険性があります。個人情報を送信する際は本当にそのサイトが信用できるのか注意しましょう。最近プライバシー  
ポリシーなどを公開している組織もあります。それらも確認しておきましょう。

## いざ、ダウンロード

---

——実際にソフトをダウンロードするというと、いろいろな方法がありますが、一般的にはホームページのリンクをクリックしてダウンロードするというのが多いと思います。ダウンロードページ<sup>7</sup>でダウンロードリンクをクリックすると、ウィンドウが表示されて、ファイルを本当にダウンロードするかどうか聞いてきます。ここで [はい] をクリックするとダウンロードが開始されます。そしてファイルをダウンロードするときはダウンロード先を確認しましょう。ダウンロード先とはダウンロードしたファイルをローカル（あなたのパソコン）のハードディスクの中のどこに保存するかということです。これを忘れるとせっかくダウンロードしてもファイルがどこに行ったかわからなくなってしまいますので注意してください。ソフトのデータの大きさやパソコンの接続環境にもよりますが、大抵のソフトはダウンロードに時間がかかります。ダウンロード状況を表す進行表示が表示されるので、コーヒーでも片手にのんびり待ちましょう。

## 大事なウイルスチェック

---

ファイルをダウンロードしたら、ウイルスチェックを行います。万が一ダウンロードしたソフトがウイルスに汚染されている場合、これをしないとファイルを解凍やインストール（後注）したときにあなたのパソコンがウイルスに感染してしまうかもしれません。ウイルス対策ソフトでダウンロードしたファイルを指定してスキャンしておきます。

## ソフトを「解凍」する

---

ダウンロードしたファイルですが、このままソフトとして使えるわけではありません。まず「解凍」という作業を行わなければいけないのです。実はインターネットで配布されているソフトのファイルの多くは「圧縮」という作業が既に施されています。これはたくさんのファイルから構成されているソフトを一つのファイルにまとめ、容量を小さくし、インターネットで配布しやすくする作業のことです。この圧縮をされているソフトを実際にあなたが使うためには、「解凍」という作業を行わなければいけません。もしあなたがダウンロードしたファイルの拡張子<sup>8</sup>が「.exe」と書いてあったなら、そのファイルをダブルクリックして開くだけで自動的に解凍が行われます。しかし「.lzh」とか「.zip」などと書いてあった場合は別に解凍ソフトというソフトが必要になってきます。解凍ソフトはその名の通り圧縮されたファイルを解凍するソフトで、フリーのものからシェアウェアのものまで、様々な種類のソフトが配布されています。

ちなみにダウンロードしたファイルに末尾に拡張子がついていないというときは、Windows の設定で拡張子が表示される設定になっているか調べて、表示されるように設定を変えましょう。設定方法ですが、まずどれでもよいのでフォルダを開いてメニューの [ツール] から [フォルダオプション] を選び

---

7 ちなみにダウンロードページといってもそれ特有の形式のホームページか何かがあるわけではなく、ホームページの中にソフトのファイルへのリンクがついているものをここでは便宜上ダウンロードページと呼んでいるだけです。

8 拡張子とはファイルの末尾、「.」の後ろについているたいてい三文字のファイル名のこと。これでファイルの種類を見分けられます。

ます。そして表示されたウィンドウで [表示] タブを選び、 [詳細設定] 中の [登録されている拡張子は表示しない] のチェックを外します。これですべてのファイル拡張子が表示されるようになります。

インターネットからダウンロードしたファイルを開くときは注意が必要です。特に「.exe」でファイル名が終わっている (.exe の拡張子の) ファイルは注意してください。場合によっては悪意を持って作られたプログラムである可能性があります。そのファイルが信用できるサイトからダウンロードした安全なものであることを確認してください。

## では、インストール

---

次はいよいよインストールです。あなたが解凍したソフトが実行形式ファイルの場合は、解凍後自動的にインストールという作業に入ります。インストールとはパソコン上でそのソフトを使えるようにする作業のことです。実行形式ファイルをダブルクリックした場合、ウィンドウが表示されてファイルが解凍された後、また別のウィンドウが表示されるはずですが、このウィンドウでソフトをインストールするときの設定などを指定したり使用許諾契約書を確認します。たとえば前者ではソフトをハードディスク上のどこにインストールするかといったことです。大抵のインストーラー<sup>9</sup>はウィザード形式<sup>10</sup>になっているので迷わずインストールできます。

ここで注意ですが、インストーラーを使ったインストールでは大抵管理者権限というものが必要になります。権限とはユーザアカウントごとに割り当てられるパソコンの設定を変更するための権限のことです。この管理者権限がないとインストールが出来ないことがあるのです。パソコンをセットアップしたときに設定したユーザは大抵管理者になっているはずですが、そうでなければパソコンに設定されているユーザのうちどれかが管理者権限を持っているはずですが、もしあなたが管理者権限を持っていないときは、管理者権限を持っているユーザに頼んで目的のソフトをインストールしてもらいましょう。

もしあなたがダウンロードしたソフトが解凍ソフトを使って解凍したものならば、大抵その解凍したファイル群を好きなディレクトリ<sup>11</sup>におくことでそのソフトが使えるようになります。ソフトの本体はファイル末尾の拡張子に「.exe」と書いてあるので使いたいときはこの実行形式ファイル<sup>12</sup>をダブルクリックしてソフトを使うことになるというわけです。素早くソフトを起動したいときはデスクトップにそのソフトへのショートカット<sup>13</sup>を置きましょう。

## 知っておきたいレジストリ

---

---

9 インストーラーとはソフトをインストールするための実行形式のファイルのことです

10 ウィザード形式とは「次へ」ボタンで画面を切り替えつつ、一つずつソフトの設定を行う設定方法のこと。

11 「ディレクトリ」とは簡単に言うとそのファイルの場所、つまりハードディスク上の保存場所のこと。

12 実行形式ファイルとはファイル名の末尾に「.exe」と書いてあるソフトのこと。

13 ショートカットとはファイルの「分身」のようなもので、これをダブルクリックすることで、ハードディスクの別の場所にあるファイル本体をダブルクリックしたのと同じようにソフトを起動したりすることができます。ショートカッ

トを作成するには目的のソフトの本体の実行ファイルを [Shift] キーと [Ctrl ] キーと一緒に押しながらショートカットを作りたい場所にドラッグ&ドロップします。

インストール作業がない<sup>14</sup>ソフトというのは、パソコンの内部の設定（レジストリ、と言います）をいじりません。もしインストーラーなどを使ってインストールした場合は、そのソフトを削除するときに「アンインストーラー」というそのソフトに付属してきた専用のプログラムを使わなければなりません。インストール作業がないソフトというのは基本的にそのソフトの関連ファイルをまとめて削除するだけで問題なく削除できます。

### 早速使ってみよう！

---

インストールが終わったら、早速インストールしたソフトを起動してみましょう。

ソフトを初めて起動したときに初期設定を行わなければいけないものもあります。別のソフトの設定をインポートしたり、各種設定を行うのです。大抵これもウィザード形式なので迷う必要はありません。これが終了すればみなさんはようやくそのソフトを使用できるようになります<sup>15</sup>。

ではみなさん、新しいソフトと共に、楽しいパソコン生活を！ ■

---

14 ソフトによっては「.exe」形式の圧縮ファイルを解凍しても「lzh」や「zip」などと同じようにインストール作業なしですぐ使えるものもあります。

15 ネットセキュリティソフトを導入しているパソコンの場合、はじめてインストールしたソフトがネットに接続しようとするときセキュリティソフトが警告画面を表示することがあります。もしそのソフトがユーザーの意図に沿った目的でネットに接続しようとしているならば、セキュリティソフトにそのソフトのネットへの接続を許可する指示をしましょう。